

## 令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞(事務次官賞)

「 意識して減災する 」

愛媛県 高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町

篠山小中学校組合立篠山中学校 1年 <sup>きのした</sup>木下 そら

私の学校は、山に囲まれ、校舎の隣には篠川が流れています。集中豪雨、台風などが続くと、土砂災害や洪水を心配します。私は車で登下校していますが、警報の後、山の斜面から水があふれ、道路が水浸しになっているところを通ります。

私はこれまであまり防災について考えたことがありませんでした。けれど、最近の異常気象で各地のじん大な被害の様子を目にすることが多くなったので、気になり、土砂災害について調べてみることにしました。

すると、土砂災害は、がけ崩れ、土石流、地すべりの三種類がありました。がけ崩れはがけや急な斜面に雨水がしみ込んだり、地震が起きたりすることで、地面がゆるみ、突然崩れ落ちる災害です。土石流は大雨によって山の斜面が崩れ、その土砂が水と混じってものすごい勢いで流れてくる現象です。地すべりは斜面がゆっくりと滑り落ちる現象です。

これを知って、今までは、山の斜面から水があふれているのを何気なく見ていましたが、この現象は大丈夫か心配になりました。そこで、えひめ土砂災害情報マップを見ると、学校は、土石流危険区域、急傾斜地崩壊危険箇所<sup>きんせつ</sup>に囲まれていました。

学校の周りは土砂災害の危険がいっぱいでした。私は急に不安になり、土砂災害が起きる前に、私にできることや何か準備することはないか考えてみました。

まずは、もっと土砂災害について知ることです。土砂災害が起こりそうな時は、必ず前触れがあることも知りました。例えば、がけ崩れは、「がけにひび割れができる」土石流は、「川の水が濁る」地すべりは、「がけから水が噴き出す」などです。普段から山の様子を気にかけることで、被害を少なくできると思いました。これらの前触れが来た時、みんなに声を掛けながら避難したいです。

次に、非常持ち出し袋の準備です。篠山中学校の生徒は、一人ずつ非常持ち出し袋を持っています。中には、非常食と水とアルミブランケットが入っています。何回か避難訓練をしましたが、2Lの水が重く、逃げづらかったです。また、他に持ち出し袋の中に入れたほうがいいと思うものもあります。

ちょうど、参観日の学級活動の時間に「安全な生活～学校の中～」という授業がありました。そこで、みんなで話し合い、「学級に、校長先生と教頭先生をお呼びして、非常持ち出し袋に入れるおすすめグッズを提案し、内容に説得力があったら、購入を考えてもらおう」ということになりました。

水の問題は、簡易ろ過機 500m Lの水を購入して、必要最小限の重さにすることを友達が提案しました。2Lの水は、私たちが避難する体育館に保存しておく、準備してある水は無駄にならないし、避難する時間が短縮できます。

他にも、避難生活のとき毎日同じものだと飽きるし、栄養のことを考えて、非常食をもっと豊かにする提案をしたり、雨天時や寒さを防ぐために雨合羽を提案したりしました。友達の提案を聞いて、「避難時に普段と変わらない生活を送ることは難しいけれど、非常食が食べてみたいものだったらほっとするだろうな」とか、「雨合羽も避難場所の建物に入れず、外で過ごさないといけない状況であれば、動きやすいし、防寒にもなるだろうな」と感心しました。

私は、マスクと消毒薬を提案しました。新型コロナウイルス感染症が流行している今、マスクや消毒薬がなかったら、避難場所で感染症が広まってしまうかもしれません。手を洗う水もしばらく使えないことも予想されます。季節や状況に応じて、準備物は変えないといけないと気付きました。

## 令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞(事務次官賞)

校長先生と教頭先生が私たちの提案を聞いた後、よかった点や改善点を教えてくれました。後は、二学期に全校生徒の意見をまとめて、最終提案をしたいと思っています。また、この提案がホームページに掲載されたので、家庭でも話題に上がりました。母が、「我が家の持ち出し袋も見直さないといけないね。」と言っていました。これからも学校で学んだことを家庭で広げたいと思います。

このように、土砂災害に備えて準備をしていると、自分の命をしっかり守り切るためには、何をしなければいけないか分かってきました。そして、自分だけで考えるのではなく、情報を集めたり、多くの人と話し合ったりすることも大切だと思いました。今回、学級のみなどとたくさん話すことで、自分では思いつかなかったアイデアがたくさん出てきました。今後は、学級だけでなく、全校へ、小学生へ、家族へ、地域へと発信し、みんなで協力して減災させたいです。